



せんだい・宮城
フィルムコミッション

映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」
宮城ロケ地マップ

ぼくが生きてる、 ふたつの世界

第26回
上海国際映画祭
コンペティション部門正式出品

第68回
ロンドン映画祭
コンペティション部門正式出品

第43回
バンクーバー国際映画祭
パノラマ部門正式出品

伝えられない想いが
あふれます。



監督: 真美保 主演: 吉沢亮 脚本: 港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 烏丸せつこ でんでん

原林貴子 山本浩司 河合祐三子 長排恵里

原作: 五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(創元文庫) 企画: プロデュース: 山岡秀裕

製作: 永田洋平 依田賢 伊藤義彦 野村弘幸 赤木崇幸 丸橋崇 坂ノ木正徳 島崎朝夫

企画: 宮崎大 プロデューサー: 長澤佳也 音楽: 田村謙人 撮影: 田中剛 照明: 溝口知 録音: 小清水建治 美術: 井上春幸 装飾: 龍井賢介 小道具: 吉永久美子

衣装: 美子謙子ヘアメイク: 山崎聖子 原田ゆかり キュースティング: 藤林真央子 演技事務: 鶴岡恭帆 助監督: 水波由火 制作担当: 泉野輝 協力: クラウド・エージェンシー 流検測

編集: 相澤貴子 VFXスーパーバイザー: 柳正成 ありふと: 石原崇徳 リンコーディング: ミキサー: 野村みき サウンドエディター: 水野理成

演出: 吉澤亮 山岡秀裕 早瀬寛太郎 石村真由美 ユーモア監督: 田川信史 手話監修: 倉方一 批評家法人 全日本ろうあ連盟

制作: 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(プロデュース: 山岡秀裕/制作: 永田洋平/監修: 伊藤義彦/原案: 五十嵐大/脚本: 港岳彦/監督: 真美保)

助成: 文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金(映画前期活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会 配給: キョウ GAGA gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく——。
繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

9.13 Fri
宮城県先行公開



2023年8月に塩竈市、利府町、七ヶ浜町などでも撮影が行われました。

映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」 宮城ロケ地マップ



【Story】

宮城県の小さな港町、耳のきこえない両親のもとで愛されて育った五十嵐大(吉沢亮)。幼い頃から母・明子(忍足亜希子)の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つが…。

1 浜田地区 [利府町]

五十嵐家周辺の撮影は利府町浜田地区内にて行われた。浜田地区・須賀地区は日本三景松島の一角をなす地区で、表松島の絶景を楽しむことができる。



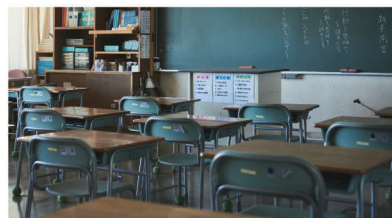
2 須賀地区 [利府町]

小学生の大が授業参観の案内を破り捨てるシーンや父・陽介(今井彰人)が大人になった大に東京に行くよう諭すシーンなど、印象的なシーンを多数撮影。



3 小学校・中学校 [塩竈市]

大が通った小学校・中学校のシーンは、原作者・五十嵐大さんゆかりの学校にて撮影が行われた。



4 塩釜水産物仲卸市場 [塩竈市]

幼少期の大が明子の買い物に同行し、“通訳”をするシーンを撮影。買い物客役としてエキストラの皆様にもご協力いただいた。



阿武隈急行線電車内 東船岡駅(宮城県)～梁川駅(福島県)

電車内のシーンは宮城県と福島県を結ぶ阿武隈急行線で撮影。大の心情を表す印象的なシーンとなった。



6 梁川駅 [福島県伊達市]

大が明子に見送られるシーンなど、駅ホームでの撮影が行われた。

5 菖蒲田漁港 [七ヶ浜町]

幼少期の大が両親とともに釣りを楽しむシーンを撮影。陽介が自転車で走行するシーンもこの付近。



せんだい・宮城
フィルムコミッション



発行：せんだい・宮城フィルムコミッション 発行年月：2024年9月
※本紙の無断転用・転売を禁じます。